

おに とび やま
鬼飛山 291m

市街の西にどっしりと構えています。運動に最適!

見晴らし台からの眺望は最高!

自然がいっぱい!

新鮮な空気を胸いっぱい!



身近な里山です

美濃加茂バイパスから近く、
山楠公園から登れます。



桃太郎のお話

鬼飛山から約4km北に進んだ上川辺という地区の飛騨川に、8畳敷くらいの広さの洗濯岩がありました。(今はダムで水没)

そこでお婆さんが洗濯をしていると大きな桃が…

誰もが子供の頃に聞いた桃太郎のお話です。

鬼飛山に鬼が住んでいて、村人にいろいろいたずらをするため、大きくなった桃太郎は鬼退治をしたのです。

鬼は驚いて大谷へ飛び降りたとか、降参し改心して、村人を助け仲良く暮らしたとか、話はいろいろな形で伝えられてきました。

下麻生に木知洞があり、かつて猿が鼻や犬が瀬という飛騨川の川瀬を筏で下っていた時代がありました。

また、麓の鹿塩地区には、鬼の金棒のいぼが取れて落ち穴があき、そこに溜まった水がいぼに効くという“いぼ井戸”があります。

花が楽しめます

これはほんの一例です。



モチツヅジ



ヒカゲツヅジ



イワカガミ



ノヤマトンボ

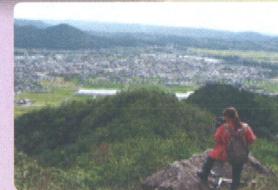


クサポケ

見晴らし台からの眺め



御獄山



遠くに名古屋駅前ビル群



大谷池土木技術遺構

江戸時代に麓を流れる雄鳥川の洪水対策と日照り時の水確保のため、土を盛り上げ堰堤が築かれていました。元禄5年領主大島氏により、延べ四千人の人足が動員され改修工事を行なった記録が残っています。

大正元年に台風で決壊し、現在の中川辺駅辺りまで見渡す限り田が水没しました。そして、大正4年に当時の土木技術により堅固な堰堤ができました。

その後、土地改良事業がなされ、耕地、治水が変貌し、現在は当時の土木技術を偲ぶ余水吐、隧道、貯水栓穴などが残っており、平成30年に川辺町の史跡に指定されました。



余水吐



吐出門



隧道



<山川橋河畔より望む鬼飛山>

